

# Jump 井坂しんや

E-mail [shinnya-isaka@yokosuka-city-council.jp](mailto:shinnya-isaka@yokosuka-city-council.jp)  
 ホームページ <http://homepage3.nifty.com/shinya-isaka/>



## 市議会第1回定例会

前号では、市議会本会議で取り上げた問題について書きました。今号では、教育経済常任委員会  
 で論議した内容をお伝えいたします。

### 教育委員会

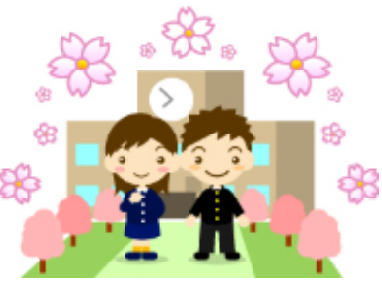
#### 高校生の奨学金の増額を！

教育委員会の論議では、不登校対策や特別支援  
 学校の問題などを取り上げましたが、その中でも  
 高校生を対象にしている奨学金の支給についてお  
 伝えします。

現在、奨学金の支給を受けられる生徒は、各学  
 年 50 人～ 60 人。これまで何度も議会で取り上げ  
 てきて、07 年度から各学年 60 人と増え、奨学金  
 を受けている生徒は 3 学年で 170 人。予算にする  
 と約 2100 万円です。しかしこれでも足りません。

08 年度の高校入学者の応募人数は約 150 人で、  
 受給した生徒は 60 人。応募しても受けられない  
 生徒が多数です。しかも、支給を受けている生徒  
 の家庭の所得は、生活保護の基準よりも低い状況  
 です。希望する生徒がすべて奨学金を受けられる  
 ようにすべきです。財政が厳しくても、未来を担  
 う子どもが少しでも

安心して学校に通  
 うことができるよう  
 に市が積極的に支援  
 する必要があります。



### 上下水道局

#### 料金の値上げをしないために！

上下水道局とは、これからの管理のあり方と財  
 政見直しなどについて論議しました。その中でも  
 2011 年以降の計画で料金の値上げをしないよう  
 今からの対応が必要と下水道の合流改善事業の問

題について論  
 議しました。

下水道事業  
 は、これまで  
 普及率を上げ  
 るため設備投  
 資をどんどん



新設された終末処理場

やってきましたが、西浄化センターができたこと  
 により、市内の下水道普及率が 90 % を超え、新  
 たな設備投資から施設管理の時代へと変わりつつ  
 あります。そのような中、新たな設備投資を慎重  
 に行わなければ、そのつけが料金に跳ね返ります。  
 2004 年度から始めている合流改善事業(雨水と汚  
 水を分ける取り組み)では処理施設建設に 45 億円。  
 バイパス管の工事などを合わせると当初計画では  
 約 400 億円の事業です。現在見直し作業をしてお  
 り、総事業費の縮小の可能性もあるようですが、  
 いずれにしても多額な設備投資となります。この  
 事業は、東京湾の水質改善を目的としたもので、  
 国が主導する環境対策事業です。市民サービスの  
 向上ではなく環境対策であれば、国や市がその費  
 用は持つべきであり、その費用を料金に転嫁し、  
 値上げをする方向になっては問題があると指摘し  
 国が責任を果たすよう強く求めべきと述べました。

### 経済部

#### 雇用対策の充実を！

経済部との論議では、今大きな問題となってい  
 る緊急経済対策と派遣切りなどの問題、雇用を増  
 やす経済対策の重要性について論議をしました。

これまでも取り上げてきたように、大企業など  
 への企業立地奨励金は 09 年度で 4 億 2000 万円以  
 上の予算計上ですが、その効果は数値的には測れ  
 ません。企業誘致の最大の目的である雇用の増大  
 についても、誘致した企業で市内雇用や新規雇用  
 が増える状況ではありません。市の税金が市内で  
 の雇用が増えるように使うことは重要であり、制  
 度の改善が必要です。

# 第1回市議会臨時会

第1回定例会が終わって、2週間しかたたない内に第1回臨時会が開かれました。今回は、市民病院の管理運営を地域医療振興協会に指定する議案が提案されました。

地域医療振興協会は、現在うわまち病院を管理運営しておりますが、もともとへき地医療の推進を目的とした法人です。旧自治省が中心となり各都道府県が出資して作られた自治医大と連携をとっています。

国の公立病院改革ガイドラインにより、各地で公立病院の民営化が進められる中、協会は42の医療機関の管理を行っています。

今回の議案に対し、私たちは、地域医療振興協会の良し悪しではなく、指定管理者制度の導入の市民的論議を広げる上で、市の姿勢が不十分として反対をしました。

指定管理者導入の大きな目的である医師不足の解消や病院財政の改善が求められますが、それと同時に市民にとって必要な医療の提供がされるかどうか重要です。

## 原子力空母のメンテナンス

### 放射性廃棄物1tを搬出！ 原子炉関係のメンテナンスか？

新聞やテレビなどでも大きく取り上げられましたが、3月28日に原子力空母ジョージ・ワシントンから放射能を含んだ廃棄物約1t分が搬出されました。その後、米海軍は1次冷却水に関連するメンテナンスを行ったことを認め、放射能管理が必要な作業が行われたことは、明白になりました。

1次冷却システムは、原子炉と直結しており、このメンテナンス作業は放射能管理を伴う危険な作業だといわれています。



日本共産党ホームページより転載  
メンテナンス中の原子力空母

## 1964年の覚書(エードメモワール)ファクトシートの内容に矛盾！

米軍が示した安全説明書(ファクトシート)では、原子炉の修理は行わない。また、1964年に結ばれた覚書(エードメモワール)では、「放射能にさらされた物質は外国の港にある間は、通常の原子力潜水艦から搬出されることはない」となっており、原子力空母にもこれは該当するものです。

今回のメンテナンス作業や放射性廃棄物の搬出は、これらの約束を破ったこととなります。

### 4月8日外務省へ申し入れ

このことを受け、4月8日に外務省に申し入れに行きました。

30分の短い時間での申し入れでしたが、外務省の担当官は「ファクトシートの範囲内」というばかりでした。

新聞記事によれば、市も「ファクトシートの範囲内」としているようですが、原子炉に係わるメンテナンスが行われた以上、約束を守るよう米軍に毅然とした態度で臨むことが求められます。安全対策のためには情報公開が最重要課題です。どのような作業が行われたか、市として米軍や国に情報の公開を求めるべきです。

## 北下浦ふるさとマラソンに参加

今年も「北下浦ふるさとマラソン」に参加しました。参加者はボランティアを含め1800人。毎年参加者が増えています。今年は、残念ながら目標にしていた10km・50分以内を達成することができませんでした。また来年もがんばります。



## 無料法律相談

サラ金、自己破産、相続、離婚、虐待、人権問題など、何でも相談を受け付けますので、お困りの方は、ぜひご相談にいらしてください。

次回・5月の予定

5月12日午後5時～8時

事前に予約が必要です。

046-849-1951